



各 位

平成 18 年 10 月 26 日
株式会社 エージーピー
代表取締役社長 合田 正彦
(JASDAQ コード番号 9 3 7 7)
問い合わせ先
常務取締役 太田 哲雄
T E L (03) 3747-1631
<http://www.agpgroup.co.jp/>

平成 19 年 3 月期中間 (連結・個別) 業績予想および
通期 (連結・個別) 業績予想ならびに期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 18 年 5 月 9 日付当社「平成 18 年 3 月期決算短信 (連結)」および同日付当社「平成 18 年 3 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想ならびに期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 中間業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	4, 9 6 9	5 7	2 8
今回修正 (B)	5, 0 9 8	2 8 4	1 5 2
増減額 (B - A)	1 2 9	2 2 7	1 2 4
増減率	2. 6 %	3 9 8. 2 %	4 4 2. 9 %
参考: 前期実績 (平成 18 年 3 月期中間)	4, 8 0 7	1 5 1	3 4 2

(2) 個別業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	4, 7 6 3	4 8	2 4
今回修正 (B)	4, 8 8 9	2 6 2	1 4 4
増減額 (B - A)	1 2 6	2 1 4	1 2 0
増減率	2. 6 %	4 4 5. 8 %	5 0 0. 0 %
参考: 前期実績 (平成 18 年 3 月期中間)	4, 5 9 0	1 7 5	3 5 9

2. 平成 19 年 3 月期 通期業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	1 0, 5 7 3	4 9 8	2 5 9
今回修正 (B)	1 0, 8 6 5	7 1 6	3 9 0
増減額 (B - A)	2 9 2	2 1 8	1 3 1
増減率	2. 8 %	4 3. 8 %	5 0. 6 %
参考: 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	1 0, 5 4 5	6 5 4	7 5 1

(2) 個別業績予想の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	10,154	470	241
今回修正(B)	10,446	688	374
増減額(B-A)	292	218	133
増減率	2.9%	46.4%	55.2%
参考：前期実績 (平成18年3月期)	10,112	636	742

3. 平成19年3月期 期末配当予想の修正

基準日	1株当たりの配当金		
	中間期末	期末	年間
前回予想 (平成18年5月9日)	—	7円00銭	7円00銭
今回修正	—	9円00銭	9円00銭
参考：前期実績 (平成18年3月期)	—	10円00銭	10円00銭

平成18年3月期の期末配当金の内訳 普通配当金 9円00銭
創立40周年記念配当金 1円00銭

4. 修正の理由

(1) 中間業績予想の修正について

① 連結中間業績予想の修正

売上高は整備事業において受託業務の拡大による増収があった一方、客先の都合による設備の改修・更新工事の実施時期の変更もあり予想を若干下回りましたが、動力事業および付帯事業が堅調に推移したことにより予想を上回りました。

営業費用においては整備事業での調達コスト削減による材料費の減、および設備の改修・更新工事の実施時期の変更等にもなう費用の減もあり、経常利益および中間純利益は予想を上回る見込みです。

② 個別中間業績予想の修正

売上高、経常利益、中間純利益のいずれも連結中間業績予想と同様の状況にあるため、前回の予想を上回る見込みです。

(2) 通期業績予想の修正について

① 連結通期業績予想の修正

売上高については今後も堅調に推移し予想を上回る見込みであり、営業費用については実施時期の変更があった設備の改修・更新工事等の費用が発生するものの、経常利益および当期純利益も予想を上回る見込みです。

② 個別通期業績予想の修正

売上高、経常利益、当期純利益のいずれも連結中間業績予想と同様の状況にあるため、前回の予想を上回る見込みです。

(3) 期末配当予想の修正について

平成19年3月期の期末配当金につきましては、上記のとおり業績が予想を上回る見込みであることから、当初1株当たりの期末配当金を7円00銭と発表しておりましたが、今回1株当たり2円00銭増額し9円00銭に修正いたします。

以上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。